



**News Letter 2018 No.2**

日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第50号 発行日：2018年11月17日

◇学会事務局：〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1  
杏林大学外国語学部内 Email: jimuj@jsthe.org

Tel 0422-47-8000 (代表) Fax 0422-47-8077 (共用)

◇学会 Web : <http://jsthe.org>

◇編集・発行人：高橋修一郎(stakahashi@bgu.ac.jp)

## 【2018年度全国大会のご案内】第一報

今年度の全国大会は、2019年3月2日(土)と3月3日(日)の2日間にわたり、JR大阪駅前の立命館大阪梅田キャンパスにて開催いたします。この間、本学会は「教育改革・高大接続改革と観光ホスピタリティ教育」をテーマとしてまいりました。本大会は「観光をめぐる新しい動向と観光ホスピタリティ教育」をテーマとして、高大連携の取り組みや観光系学部学科のキャリア教育も取りあげます。

以下に、大会プログラムの概略と研究発表の申込方法、ワークショップテーマの申込手順についてご案内申し上げます。一人でも多くの方にご参加いただけますようお願い申し上げます。なお、プログラム詳細や参加申込につきましては、1月中旬にお届けする予定です。

### 1. 大会概要

(1) 開催日 2019年3月2日(土)・3日(日)

(2) 開催地 立命館大阪梅田キャンパス

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4

大阪富国生命ビル5階

最寄駅：JR「大阪」駅、阪急電車・阪神電車など

「梅田」駅(徒歩5分)メイン会場は多目的室

(3) プログラム概要

[1日目3月2日(土)]

11:00～12:30 理事会

12:30～ 受付開始

13:00～14:30 第一部：基調講演

「観光業界で加速する創造的破壊～観光教育の未来形を考える～」

神戸山手大学 現代社会学部観光文化学科

客員教授 江藤誠晃 氏

14:40～15:40 第二部：課題講演

『『未来の教室』に見る教育改革の明日とキャリア教育』  
立教新座中学校・高等学校 校長 村上和夫 氏

15:50～17:20 第三部：事例報告

① 「(仮)長野県飯田市フィールドスタディに於ける  
アクティブ・ラーニングの教育実践報告」

追手門学院大学 基盤教育機構 常勤講師大串恵太氏

② 「(仮)和歌山県立田辺高校との高大連携による観  
光振興と世界遺産保全の取り組み」

立命館大学経済学部 准教授 峯俊智徳氏

③ 調整中

18:00～19:30 懇親会

[2日目3月3日(日)]

09:30～ 受付開始

10:00～11:00 実践報告・研究論文発表

11:00～11:10 休憩

11:10～12:30 ワークショップ

① アクティブ・ラーニングの手法

② 講義・ゼミナールの設計と教育実践

③ 観光をテーマとする英語コミュニケーション教育

12:30～12:50 ワークショップ報告

12:50～13:00 閉会式

※ プログラムの内容・時間等は変更することがあります。

### 2. 大会参加費・懇親会費

参加費：正会員 2,000円、準会員・大学院生・学部生  
1,000円、一般 3,000円、

懇親会費：正会員・一般 5,000円、学生 3,000円

### 3. 研究・教育実践発表の募集について

研究・教育実践論文および教育実践報告の発表者を募集します。いずれも、会員または会員を含む連名による発表が条件です。希望される方は、学会ウェブサイトにある募集要項(全国大会様式1)と執筆要領(全国大会様式2)、応募用紙(全国大会様式3)をダウンロード、ご覧のうえ、応募用紙に必要事項を記入し、電子メールで2019年1月11日(金)までに送付ください。

応募用紙を受け取り次第、大会論文執筆フォーマットをメールでお送りいたしますので、執筆要領にしたがって大会論文集用の原稿を作成し、2月7日(木)までに電子メールで提出していただきます。なお、発表査読は行いませんが、内容・様式に著しく問題がある場合は、発表を認めない場合があります。また、研究発表論文集費用(5,000円)は大会当日にお支払いいただきます。

■ 発表応募締切 2019年1月11日(金) 必着

■ 発表論文完成原稿締切 2019年2月7日(木) 必着

＜大会論文集担当＞発表のご応募やお問い合わせはこちらまで。

獨協大学 鈴木 涼太郎 E-mail: taikai@jsthe.org

#### 4. 大会事務局

立命館大学 峯俊智穂

電話：077-561-4870

電子メール：minetosh@fc.ritsumei.ac.jp

※電子メールが確実です。

## 【理事会報告】

### <2018年度第2回理事会>

日時：2018年6月10日（日）10:00～11:30

場所：杏林大学井の頭キャンパス F412 教室

出席者：鈴木勝会長、宍戸副会長、浅岡副会長、鈴木涼太郎理事、野口理事、橋本理事、藤田理事、古本理事、峯俊理事、村上理事、海老澤監事、板垣幹事、澁谷幹事  
欠席者：朝倉理事、小槻理事、高橋理事、廣岡理事、安島理事、難波監事、大島幹事、千葉幹事、永田幹事

#### 議事

##### 1. 2018年度総会・講演会について

- 古本理事より資料に基づいて説明がありました。
- シンポジウム出席者は会員、一般参加、パネリストを含めて34名であることが報告されました。
- 通常総会の各議案の報告者を各委員会委員長とすることが確認されました。
- 2017年度事業報告・決算報告、2018年度事業計画・予算計画についての説明がありました。2017年度決算では増加した会費未収が課題として挙げられました。これを受けて、会費の滞納者への対応について検討されました。また、次年度繰越金については、web サービスや新規事業等、今後の会員サービスに充てる予定であることも説明されました。
- 規約改定案について説明がありました。常務理事が実態として置かれていない現状を鑑み、常務理事の文言の記載がある規約（第15条、第16条、第22条2、第24条4、第30条）の改定案が示されました。また、各委員会業務の継続性を保つことを目的とし、理事の交代数を現規約の半数から3分の1以上に変更する案も提案されました。

##### 2. 役員改選について

- 2018年度・2019年度役員案が説明されました。

##### 3. 編集委員会報告

- 鈴木涼太郎理事より資料に基づいて説明がありました。
- 新編集委員会が鈴木涼太郎委員、浅岡委員、朝倉

委員、中村委員、藤田委員、安江委員から構成されることが説明されました。

- 機関誌第12号の刊行計画について説明がありました。論文2本、教育実践報告1本の投稿があり、現在査読中です。
- 書評で取り上げる著書については検討中であり、候補を募集しています。

##### 4. 広報委員会報告

- 野口理事より資料に基づいて説明がありました。
- 現在の業務として、ニューズレターの発行、公式ウェブサイト、Twitter、Facebookの管理・更新、電子ジャーナルの発行を行っています。電子ジャーナルの発行業務に関しては、編集委員会と業務の整理を行います。
- 現状、正会員と準会員の増強が課題ですが、本学会の認知度が低いため、観光教育関係者へのアピール・連携をしていく必要があります。そのためにも、SNSとそれ以外による広報活動の展開、会員メリットの再検討・明確化、学会公式ウェブサイトの更新をしていく必要があります。

##### 5. 総務委員会報告

- 古本理事より総会・講演会以外の報告事項はないことが説明されました。

##### 6. 新規事業委員会報告

- 宍戸副会長より新規事業の進捗状況について説明がありました。

##### 7. 次回研究会について

- 10月もしくは11月開催理事会と同時にいきます。
- 研究会のテーマについて検討されました。案として、大学院生や実務家教員の参加が見込める企画、地域連携、異文化教育、離学者対策・学生対応、オリンピック関連が提案されました。議論の結果、大学院生と地域連携を関連させたテーマが候補となりました。

##### 8. 入退会審査

- 正会員2名の入会、正会員3名の退会が認められました。また、正会員1名の準会員への変更が認められました。
- 審査後の会員数は170名（正会員151人、準会員15名、特別会員1団体、名誉会員3名）となりました。

### <2018年度第3回理事会>

日時：2018年9月8日（土）15:00～16:30

場所：東海大学代々木キャンパス4号館2階4201教室

出席者：小畑会長、宍戸副会長、中村理事、野口理事、藤田理事、古本理事、峯俊理事、板垣幹事、大島知典幹事、澁谷幹事

欠席者：橋本副会長、芝木理事、鈴木理事、高橋理事、千葉理事、廣岡理事、福本理事、村上理事、難波監事、安島監事、大島安奈幹事、大串幹事

#### 議事

##### 1. 2018年度総会報告

- 古本理事より資料に基づいて説明がありました。
- 総会・シンポジウムの参加者は合計33名、懇親会の参加者は20名でした。
- 会計としては、支出が収入を大きく上回ったものの、予算内に収まりました。

##### 2. 今後のスケジュールについて

- 今後の理事会および全国大会の日程と開催場所が検討されました。第18回全国大会は2019年3月2日（土）と3月3日（日）に立命館大学大阪梅田キャンパスで開催します。第4回理事会は2018年10月27日（土）に關東の大学、第5回理事会は2019年1月26日（土）に立命館大学大阪梅田キャンパスでの開催で調整します。

##### 3. 方針および各種委員会配置について

- 2018年度および2019年度の日本観光ホスピタリティ教育学会の全体テーマが「高校・大学の教育改革と高大教育接続改革のなかでの観光ホスピタリティ教育」となりました。
- 委員会の役員配置案が提案され、広報委員長に野口理事、総務委員会委員長に古本理事、新規事業検討委員会委員長に宍戸副会長が就任することとなりました。

##### 4. 各委員会報告

- 編集委員会の中村理事より、第12号の編集状況について報告がありました。
- 広報委員会の野口理事より、今後の会員増強において注力したい人材について、メールにて意見を募る予定であると報告がありました。
- 総務委員会の古本理事より、Webサイト管理会社から、Webサイト変更の提案があったことが報告されました。

##### 5. 研究会（2018年度第2回分）について

- 第2回研究会のテーマが検討され、第18回全国大会のテーマと関連したものが良いとの意見が挙がりました。
- 学会の全体テーマ「高校・大学の教育改革と高大教育接続改革のなかでの観光ホスピタリティ教育」

は議論の対象が広範なため、第2回研究会は議論の整理を目的に開催し、それを踏まえて全国大会のテーマを決定することが提案されました。

- その他にも、海外での高大教育接続の事例や、大学付属高校における高大教育接続の事例が提案されました。
  - 議論の結果、多様な高大教育接続のパターンがあることの認識、高大教育連携の議論の整理を目的として、第2回研究会では観光地域における高大教育接続の事例報告を行うことになりました。
- ##### 6. 入退会審査
- 正会員6名の入会、正会員1名の退会が認められました。
  - 審査後の会員数は176名（正会員158人、準会員14名、特別会員1団体、名誉会員3名）となりました。

#### <2018年度第4回理事会>

日時：2018年10月27日（土）13:30～14:30

場所：立命館大学東京キャンパス 教室1

出席者：小畑会長、宍戸副会長、芝木理事、鈴木理事、高橋理事、野口理事、福本理事、古本理事、村上理事、峯俊理事、澁谷幹事

欠席者：橋本副会長、千葉理事、中村理事、廣岡理事、藤田理事、難波監事、安島監事、板垣幹事、大島安奈幹事、大島知典幹事、大串幹事

#### 議事

##### 1. 各委員会報告

###### (1) 総務委員会

会員データ管理体制の整備、総会・研究会の運営を主たる内容とした2018年度事業計画が説明され、承認されました。

###### (2) 広報委員会

2018年度の事業計画として、ニューズレターの発行等の既存事業を実施するとともに、実務家向けや若手研究者向けの取組を新規事業委員会と協力しつつ進める等の会員増強計画について説明がなされ、意見交換の上で承認されました。

###### (3) 新規事業委員会

研究助成制度の整備、大学院生等による教育研究機会の提供、学会表彰の設置等を2018年度の事業計画として行うという提案がなされ、承認されました。

##### 2. 2018年度全国大会について

- 2019年3月2日（土）～3日（日）に立命館大学大阪梅田キャンパスで開催される「第18回全国大会」について、内容面での検討を行いました。

- テーマは「観光をめぐる新しい動向と観光ホスピタリティ教育」とし、実行委員長を峯俊智理事(立命館大学)とする委員会体制が承認されました。
  - 昨年度大会の構成をベースとした上で、内容面について小畑会長・峯俊全国大会委員長を中心に検討を行った上で、学会報にて告知することになりました。
3. 入退会審査
- 正会員 2 名、準会員 1 名の入会、正会員 5 名の退会が認められました。
  - 審査後の会員数は 172 名(正会員 154 人、準会員 15 名、特別会員 1 団体、名誉会員 3 名)となりました。
  - 名誉会員推薦の仕組みについて次回理事会にて検討を行うこととなりました。

## 【研究会報告】

2018 年 10 月 27 日(土) 15:00~17:00(場所:立命館大学東京キャンパス)にて開催された、2018 年第 2 回研究会「高大接続、何が語られているのか?」についてご報告します。今回は、2 名の講師を迎えて行いました。

まず、小畑力人氏(神戸山手大学・JSTHE 会長)より「どうなる、これからの大学入試改革と高大教育改革」と題した話題提供があり、文部科学省・中央教育審議会答申や高等学校学習指導要領改訂、大学入試新共通テスト等、最新の教育制度改革に関する解説と、大学等高等教育機関における観光ホスピタリティ教育と高校教育との「アクティブラーニングを通じた連携」の可能性が提起されました。

次に、宍戸学氏(日本大学・JSTHE 副会長)より「新学習指導要領における観光教育と高大接続を考える」という論題で話題提供が行われました。高等学校におけるこれまでの観光教育を概観した上で、高等学校新学習指導要領において商業科に開設された「観光ビジネス」の概況とそれを展開する上での課題について示されました。

質疑応答では、高校における観光教育の取組を共有する取組を行っている「全国高等学校観光教育研究協議会」と本学会との連携等、活発な議論がかわされ、盛況のうちに終了致しました。

## 【機関誌編集委員会】

機関誌『観光ホスピタリティ教育』第 13 号

<投稿原稿募集のお知らせ>

日本観光ホスピタリティ教育学会の機関誌『観光ホスピタリティ教育(英語名:Annals of Tourism & Hospitality Education)』の投稿原稿を募集いたします。観光ホスピタリティ分野の教育活動を行っている大学院、大学、短期大学、専門学校、高等学校はますます増加しております。会員の皆様がかかわったさまざまな教育実践の取り組みや学術的な研究の成果をぜひ、本学会の機関誌でご発表ください。

会員の皆様からの投稿を編集委員会一同、心からお待ちいたしております。また、編集委員会から原稿執筆などをお願いした際には、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

第 13 号の原稿締切日:2019 年 4 月 30 日(月)

原稿投稿先:投稿申込書 1 部と審査用原稿 1 部を PDF あるいはワードのファイルにて(PDF が望ましい)、本学会本部事務局(jimu@jsthe.org)にメールで送付。申込書は本学会ホームページからダウンロードください。

## 【新規事業委員会】

- 2018-2019 年度新規事業委員会は、委員長宍戸学(日本大学)、副委員長千葉里美(札幌国際大学)、委員廣岡裕一(京都外国語大学)大串恵太(追手門学院大学)・板垣武尊(立教大学)の体制で行います。
- 新規事業としては、研究助成制度を 2019 年度実施の準備を進めています。その他事業として、大学院生や社会人を対象とした FD 研修機会の導入や学会賞の創設などを議論しています。

## 【広報委員会】

日本観光ホスピタリティ教育学会では、新規会員を募集しています。特に 2018 年度、2019 年度は、実務家教員と大学院生の入会促進を強化して参ります。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。お近くに入会希望者がいらっしゃいましたら、お気軽に学会事務局までご相談ください。

学会事務局:jimu@jsthe.org

## 【献本情報】

学会事務局宛に以下の献本がございましたので、紹介します。

- 中村真典「元 CA 訓練部長が書いた日本で一番やさしく、ふかく、おもしろいホスピタリティの本」(晃洋書房)

ホスピタリティがサービス業界において重要視されるようになった経緯に沿って、具体的なエピソードを中心に紹介。ホスピタリティの背景となる異文化交流にも触れながら、元 CA 訓練部長がホスピタリティ・マインドをやさしく伝えます。(出版社ウェブサイトより引用)

- 公益財団法人日本交通公社「旅行年報 2018」  
観光に関する各種統計資料や、発行元が行った調査結果を元に、観光の動向を概観する資料です。JSTHE の取組についても p. 205 「国内観光関連学会の概要」に記載されています。

- ヴァレン・L・スミス編 (=市野澤潤平・東賢太郎・橋本和也監訳)「ホスト・アンド・ゲスト 観光人類学とはなにか」(ミネルヴァ書房)

本書は、観光人類学の嚆矢であると同時に、「ホストとゲスト」という枠組みを世に問うた観光学の古典としても名高い。移動、余暇、非日常性などの人類学理論から観光を考える視座を提示した上で、世界各地におけるホストとゲストの関係や観光開発による文化変容をつぶさに描き出す。(出版社ウェブサイトより引用)

- 李明伍・臺純子編「国際社会観光論」(志學社)  
観光現象を社会から切り取って論ずるのではなく、社会全体との関わりの中で論ずる、あるいは既に切り取られている観光を社会に戻して全体との関わりの中で捉え直す。これが『国際観光社会論』の基本的なスタンスである。(出版社ウェブサイトより引用)

## 【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から2年以内の書籍(定期刊行物を除く)を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

編集・発行人 高橋修一郎 (文京学院大学)

E-Mail : stakahashi@bgu.ac.jp

FAX : 03-5684-4706 (大学共用)

## 【学会 SNS アカウント】

Facebook

<http://www.facebook.com/jsthe.org/>

Twitter

<http://twitter.com/JSTHEducators>